

通 信

沖縄生物学会第46回大会の開催のお知らせと講演プログラム

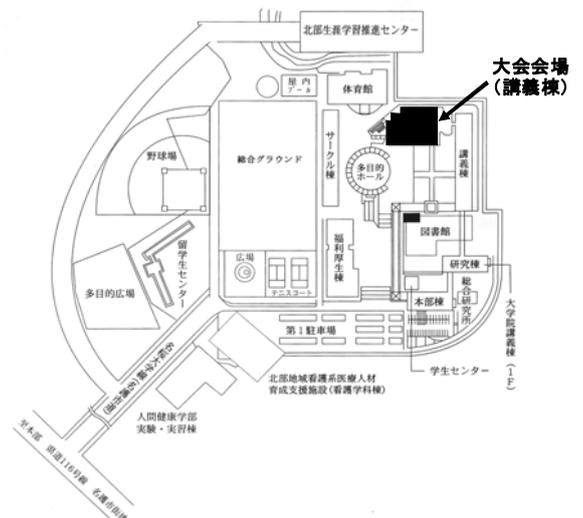
日時： 2009年5月30日(土)
 場所： 名桜大学 講義棟

沖縄生物学会第46回大会が名護市の名桜大学にて下記の日程で開催されます。今大会は29題の一般発表(口演11題、ポスター18題)があります。昨年同様小学生による発表に加え、高校生による発表(口演1題、ポスター1題)もあります。公開シンポジウムでは30年ぶりに再確認されたオキナワトゲネズミをテーマとして開催されます。また、先回の名桜大学での41回大会同様にエクスカーションも行います。今回は「屋我地島の自然－饒平名干潟を中心に－」と題し、屋我地の干潟における外来植物(主にヒルギダマシ)の現状等や残された自然について観察します(後述参照)。多数の方のご参加をお待ち申し上げます。

大会日程		
5月30日(土) 受付	9:00～	講義棟 111
一般講演	9:30～12:00	講義棟 109
休憩(昼食)	12:00～13:00	
総会	13:00～14:00	講義棟 109
一般講演	14:00～14:30	講義棟 109
ポスター講演<小学生>	14:30～15:00	ピロティー
ポスター講演	15:00～16:00	ピロティー
シンポジウム	16:00～18:00	講義棟 109
懇親会	18:10～20:00	大学食堂
5月31日(日) エクスカーション	8:00～12:00	饒平名干潟

- ・参加費用大会参加費 :1,500円 (学生 1,000円)
- ・懇親会 懇親会費 :2,000円 (学生 1,000円)

場所: 名桜大学
 沖縄県名護市為又1220-1
 大会会場: 講義棟109教室及びピロティー
 公開シンポジウム会場: 講義棟109教室
 懇親会会場: 大学食堂



プログラム

一般講演(講義棟109)【9:30~12:00】

1. 9:30~9:45 *國府方吾郎(科博・植物), 篠原涉(京大・院・理), 齊藤由紀子(科博・植物), 彭鏡毅(中央研究院), 横田昌嗣(琉大・理・海洋自然). 奄美大島固有種ヒメヤマコナスビと矮小化した葉をもつ他日本・台湾産種との系統関係.
2. 9:45~10:00 楠井善久(和歌山県湯浅町). 宮古島と石垣島における外来の食糞コガネムシ2種について.
3. 10:00~10:15 藤吉栄次・玉城泉也・小林正裕・阿部真比古(水研センター西海区水産研究所)・菊地則雄(千葉中央博物館海の博物館), 須藤祐介(沖縄県水産海洋研究センター). 沖縄県沿岸で採集した紅藻アマノリ葉状体の外部形態等について.
4. 10:15~10:30 平塚悠治(琉球大学・亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構). 沖縄産ナガウニ科ウニ類(Family Echinometridae)7種の野外食性.

10:30~10:45 <休憩>

5. 10:45~11:00 藤田喜久(琉大・理工学研究科/NPO 法人 海の自然史研究所), 永江万作(鹿大・院・水産)・組坂遵治(鹿大・水産), 松岡卓司(鹿大・院・水産), 鈴木廣志(鹿大・水産). 琉球列島の飛沫転石帯に出現する十脚甲殻類について.
6. 11:00~11:15 *鳥居高志・田端重夫((株)いであ). 沖縄島中城湾で採集されたリュウグウノツカイ *Regalecus russellii* の幼期個体.
7. 11:15~11:30 *飯田勇次(唐津市立北波多中学校), 田中邦明(北海道教育大函館校). 中学校選択理科の実践例ーニホンヒキガエルに関してー.
8. 11:30~11:45 水谷晃(東海大・沖縄地域研究センター), *村越未来(東海大・院・海洋), 小菅丈治(東海大・沖縄地域研究センター), 木村賢史(東海大・海洋), 河野裕美(東海大・沖縄地域研究センター/東海大・海洋研究所). 西表島西部の河口干潟におけるシギ・チドリ類相と餌生物および底生生物と底質との関係.
9. 11:45~12:00 河野裕美(東海大・海洋研究所/東海大・沖縄地域研究センター), *水谷晃(東海大・沖縄地域研究センター). 傷病鳥類の保護飼育ーエリグロアジサシ幼鳥の長期飼育による野生復帰例ー.

休憩(昼食)【12:00~13:00】

沖縄生物学会総会(講義棟109)【13:00~14:00】

一般講演(講義棟 109)【14:00~14:30】

10. 14:00~14:15 *安村茂樹・花輪伸一(WWFジャパン), 島崎彦人(国立環境研), 柴田剛((株)エアロフォトセンター), 中井達郎(国土館大). 南西諸島生物多様性評価プロジェクトーGIS手法を用いた優先保全地域の抽出ー.
11. 14:15~14:30 東盛光希ほか(八重山高校). 石垣島におけるヤシガニの研究.

ポスター講演<小学生>(講義棟ピロティ)【14:30~15:00】

1. 糸嶺朋華・永岡花・大村真生・山城めぐみ(座間味村立慶留間小学校), 遠藤晃(佐賀大・農学部).
ケラマジカの角のときあとーどんな木にとぐの?ー.
2. 大村真生・糸嶺朋華・永岡花・山城めぐみ(座間味村立慶留間小学校), 遠藤晃(佐賀大・農学部).
ケラマジカの戦いについて.
3. 永岡花・大村真生・糸嶺朋華・山城めぐみ(座間味村立慶留間小学校), 遠藤晃(佐賀大・農学部).
ケラマジカの食べ物についてーシカはなぜかたい葉を食べるのかー.

ポスター講演(講義棟ピロティ)【15:00~16:00】

4. 遠藤晃(佐賀大・農学部). 座間味村における環境教育の取り組み.
5. 備瀬知哉・*新垣裕治(名桜大・国際学部・観光産業), 伊東孝・玉城常智・石井力(名護自然動植物公園(ネオパークオキナワ)). 国際種保存研究センター(ネオパークオキナワ園内)におけるヤンバルクイナの抱卵及び育雛の観察記録について
6. 新崎えみ他2人・小橋川武・笠井龍・賀数飛鳥・高橋相馬(辺土名高校サイエンス部). 大宜味村周辺の野鳥(ヤンバルクイナ・ノグチゲラ・アカヒゲ)調査Ⅱ.
7. 傳田哲郎・小林 峻・伊澤雅子(琉大・理・海洋自然). ゲットウの開花習性と花蜜分泌に関する予備調査.
8. *唐真盛人(東海大・院・人間環境), 水谷晃(東海大・沖縄地域研究センター), 北野忠(東海大・教養), 崎原健・河野裕美(東海大・沖縄地域研究センター). 西表島の人工的湿地に生息するゲンゴロウ類Ⅲー小型種の生息状況ー.
9. 小林 峻・傳田哲郎・広瀬裕一・伊澤雅子(琉大・理・海洋自然). オキナワウスカワマイマイ *Acusta despecta despecta* (オナジマイマイ科 Bradybaenidae) の花粉食.
10. * 平中晴朗・塩根嗣理・田端重夫((株)いであ), 桜井雄((株)沖縄環境調査). 沖縄島における国内外来種のヒルギダマシ (*Avicennia marina*) の分布.
11. 安部真理子(沖縄リーフチェック研究会), 大野正人(日本自然保護協), 長谷川均(国土館大・地理学教室), 後藤智哉(国土館大・大学院博士課程), 鈴木倫太郎(駒澤大・応用地理研究所), 中井達郎(国土館大学), 花輪伸一(WWF ジャパン), 中野義勝(琉大・熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設). 沖縄島・大浦湾におけるアオサンゴ (*Heliopora coerulea*) 群集の調査結果.
12. 中野義勝(琉大・熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設), 久保弘文(沖縄県水産改良普及センター), 仲村茂夫(琉大・熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設). 瀬底研究施設における取水管汚染生物(貝類)について.
13. 田端重夫・平中晴朗・勝越清紀・笠原勉・細谷誠一((株)いであ), 園原信也(宜野湾市), 堤千華(一宮市). 陸上水槽における熱帯性海草類の育成栽培と自然海域への移植.
14. 石黒ともえ・中本 敦・佐藤亜希子・伊澤雅子(琉大・理・海洋自然). ヒカンザクラ並木に飛来するオリオオコウモリの個体間関係.

15. 岩崎哲也・伊澤雅子(琉大・理・海洋自然). 胃内容物から見たシロハラクイナの採餌生態.
16. 河内紀浩(島嶼生物研/アージ研究会), 山田文雄(森林総研), 中田勝士(アージ研究会/環境省やんばる), 小松知普(アージ研究会), 吉岡由恵・中村智映財(沖縄こども未来ゾーン), 南木大祐(琉大・海洋自然). オキナワトゲネズミの行動圏、活動性及びねぐらの形状.
17. 村田知慧(北大院生命科学院), 山田文雄(森林総研), 河内紀浩(島嶼生物研), 中田勝士・三宅雄士・福地壮太・七里浩志・阿部慎太郎(環境省那覇), 小高信彦(森林総研), 黒岩麻里(北大院理学研究院). オキナワトゲネズミ *Tokudaia muenninki* の性染色体進化.
18. 山田文雄(森林総研), 河内紀浩(島嶼生物研), 中田勝士・三宅雄士・福地壮太・七里浩志・阿部慎太郎(環境省那覇), 小高信彦(森林総研), 黒岩麻里・村田知慧(北大). オキナワトゲネズミ *Tokudaia muenninki* の生息地と捕獲個体.

公開シンポジウム(講義棟109)【16:00～18:00】

オキナワトゲネズミ *Tokudaia muenninki* ～アージの暮らせる森づくりに向けて～

1. 16:00～16:05 小高信彦(森林総合研究所九州支所). 趣旨説明
2. 16:05～16:25 山田文雄(森林総合研究所関西支所). オキナワトゲネズミ再発見の学術的意義と保護への課題
3. 16:25～16:45 河内紀浩(アージ研究会). トゲネズミの保全に向けた地域の取り組み
4. 16:45～17:05 高嶋敦史(琉球大学農学部与那フィールド). トゲネズミの生息地保護と林業のあり方
5. コメント 17:05～17:15 コメンテーター: 伊澤雅子(琉球大学理学部)
6. 総合討論 17:15～18:00

パネリスト: 千木良芳範(沖縄県立博物館), 久高将和(NPO国頭ツーリズム協会), 澤志泰正(環境省那覇自然環境事務所)

シンポジウム趣旨

オキナワトゲネズミ(以下アージ:方言名)は、沖縄島北部の「やんばるの森」に固有の齧歯類で、環境省のレッドリストでは絶滅危惧IA類にランクされ、我が国で最も絶滅が危惧されている哺乳類の一つである。長らく、アージの生息状況については明らかにされてこなかったが、2008年3月、学術捕獲により30年ぶりに本種の生息が確認された。本種は、希少哺乳類であるということだけではなく、学術上非常に貴重な種である。本種のオスは通常の哺乳類と同様にY染色体を持つが、本種と同属のアマミトゲネズミ *T. osimensis* とトクノシマトゲネズミ *T. tokunoshimensis* のオスではY染色体が無いことが知られている。アージは、琉球弧の地史と齧歯類の種分化、そして哺乳類における性染色体の進化を解き明かす上で、鍵となる種である。

琉球諸島は、環境省と林野庁が2003年に実施した合同検討委員会において、世界自然遺産の国内候補地の一つとして選定されている。琉球諸島の選定理由の一つに、大陸島として多様な進化の過程がみられることや、それぞれの島に独自の生物相の成り立ちがあることが挙げられている。琉球諸島の中核地の一つである「やんばるの森」においても、国立公園化や保護林(森林生態系保護地域)指定に向けた準備がそれぞれ環境省と林野庁によって進められている。また、沖縄県や国頭村においては、生物多様性に配慮した林業活動や非破壊的な森林利用についての取り組みがはじめられている。

琉球諸島の森林生態系において、世界自然遺産としての価値を維持する条件として、全ての在来種が暮らせる森づくりが重要である。本集会では、アージの学術研究の最新成果、保全に向けた取り組み、

林業活動の現状について紹介し、将来にわたってアージが暮らせる「やんばるの森づくり」について議論したい。

懇親会(大学食堂)【18:10~20:00】

シンポジウム終了後、構内の大学食堂に移動し、ささやかな懇親会を予定しております。講演時間内に出来なかった討論や会員同士の親睦をより深めるため、是非ご参加下さい。

沖縄生物学会エクスカージョン【5月31日(日)8:00~12:00】

屋我地島の自然—饒平名干潟を中心に—

概要:屋我地島の干潟における外来植物(主にヒルギダマシ)の現状等や残された自然の観察を行う。

スケジュール:8:00 名護市民会館前集合(名桜大学のマイクロバスにて移動)

8:45 饒平名干潟到着

10:00 干潟観察終了

10:00~ 屋我地中学校周辺の植生を散歩

10:30~ サバヤ貝塚など屋我地島内をドライブ

12:00 名護市民会館到着 解散

注意:動きやすい服装で来て下さい。帽子は必需品。長靴など泥で汚れてもいい靴。雨の場合は、雨ガッパ。飲み物はあった方がいいです。靴を洗う水を一人あたり2リッターのペットボトル1本準備します。バスにペットボトルを載せますので、各自、水を詰めてください。簡易な救急医療セットはバスに載せておきます。名護市民会館へ駐車する場合は海側の駐車場へ駐車して下さい。

- ・ 対象年齢制限:なし
- ・ 料金:無料(保険料金のみ、1人100円程度)
- ・ 最低催行人数は5人。
- ・ 申し込み先:5/26(火)までに新垣裕治(arakaki@mail.meio-u.ac.jp)まで。

連絡先

沖縄生物学会第46回大会準備委員会

〒905-8585 沖縄県名護市為又1220-1

名桜大学国際学群観光産業専攻

新垣裕治 TEL(0980)51-1081 FAX(0980)52-4640

評議員の皆様へのお知らせ

沖縄生物学会評議会を、2009年5月25日(月曜)19時より、琉球大学理学部本館5階528室にて開催致します。ご参加下さいますよう、よろしくお願い致します。

議題は、1)46回大会準備について、2)沖生誌47号について、などです。ご参加いただける方はあらかじめ庶務(okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp)までご連絡下さい。

沖縄生物学会評議会報告

1. 概要

沖縄生物学会評議会が2009年4月27日(月)午後7時から1時間ほど、琉球大学理学部528教室において開催されました。参加者は17名でした。内容は、1)第46回大会の準備状況、2)池原貞雄先生記念出版事業の進行状況、3)池原賞(仮称)の準備状況、4)沖縄生物学会と動物分類学会の合同大会開催(2011年)について、5)編集幹事の変更、6)投稿規程の改定(電子投稿)、7)県営林道5号線の環境調査に関する意見書、8)会誌第47号について、でした。

2. 内容

1) 第46回大会の準備状況

第46回大会の準備状況について、大会準備委員より報告がありました。詳細は1~5ページをご覧ください。

2) 池原貞雄先生記念出版事業の進行状況

池原貞雄先生記念出版事業委員会より報告があり、依頼と公募による執筆をあわせて10タイトルの科学エッセイを収録することになりました。2010年度の発行を予定しています。

3) 池原賞(仮称)

池原貞雄記念賞規約(案)が決まりました。今後評議員会で規約を決定する予定です。

4) 沖縄生物学会と動物分類学会の合同大会開催(2011年)について

動物分類学会より2011年に琉球大学で大会を実施したいと言う申し出を受け、シンポジウムと懇親会を沖縄生物学会と合同でおこなってみてはどうかという案が出されました。今年度の大会総会で調整をする予定です。

5) 編集幹事の変更

これまで編集幹事を務められていた本多正尚さんが筑波大学に移動したため、琉球大学の成瀬貫さんに変更となりました。

6) 投稿規程の改定(電子投稿)

沖縄生物学会誌において、紙原稿とともに電子投稿を受け付けるための投稿規程改定について編集幹事より報告がありました。

7) 県営林道5号線の環境調査に関する意見書

沖縄県知事宛の県営林道5号線の環境調査に関する意見書の案が会長より提示され、今後意見書提出に向けて検討していくことが報告されました。

8) 会誌第47号について

予定では昨年度中の発刊を目指していましたが、山里清先生を偲ぶ記事を急遽追加することが決まったため、予定よりも遅れる見込です。また、会誌第48号については随時原稿を受け付けています。詳細は8ページの「原稿募集のお知らせ」をお読み下さい。

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。

電子メールは、okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp です。

沖縄生物学会役員一覧表

沖縄生物学会の会長、副会長、監査員および評議員が下記のように選出され、前回の総会で承認されました。任期は、2008年5月24日から2010年5月の総会までです。

会長 横田昌嗣(琉球大学)

副会長 山城秀之(沖縄工業高等専門学校) 久場政春(生物教育研究会会長)

監査員 稲福 弘(沖縄県総務部) 武村栄子(沖縄建設弘済会)
菊川 章(球陽高校)

評議員

大学関係 新垣裕治(名桜大学) 宮城邦治(沖縄国際大学)
照屋建太(沖縄キリスト教短期大学)

研究機関 新垣則雄(県農業研究セ) 野中正法(沖縄美ら海水族館)
長井 隆(財・沖縄県環境科学センター)

行政機関 当山昌直(沖縄県文化振興会)
澤志泰正(那覇自然環境事務所)

高校関係 安座間安史(辺土名高校) 村上美穂子(読谷高校)
神谷保江(元高校教諭)

中学校関係 比嘉清文(嘉数中学校) 平良正哉(知念中学校)

さらに以下の幹事、編集委員が会長によって委嘱されました。

庶務 須田彰一郎(琉球大学) 佐藤 綾(琉球大学)
金城和三(沖縄国際大学) 山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)

会計 傳田哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)

編集幹事 久保田康裕(琉球大学) 成瀬 貴(琉球大学)

編集委員 伊藤竜一(琉球大学) 太田英利(兵庫県立大学)
大瀧丈二(琉球大学) 今井秀行(琉球大学)

沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会沖縄営業所 所長 安次嶺 学
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

原稿募集のお知らせ

これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこで、45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。

1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿に際しては、45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意ください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫 (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。

原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

沖縄生物学会編集委員会

沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

生物系事務室 TEL:(098)895-8577

佐藤 綾(098)895-8555, 須田彰一郎(098)895-8564

FAX:(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

振替口座 郵便:02030-8-30433 沖縄生物学会

銀行:琉球銀行宜野湾支店 普通051-065沖縄生物学会